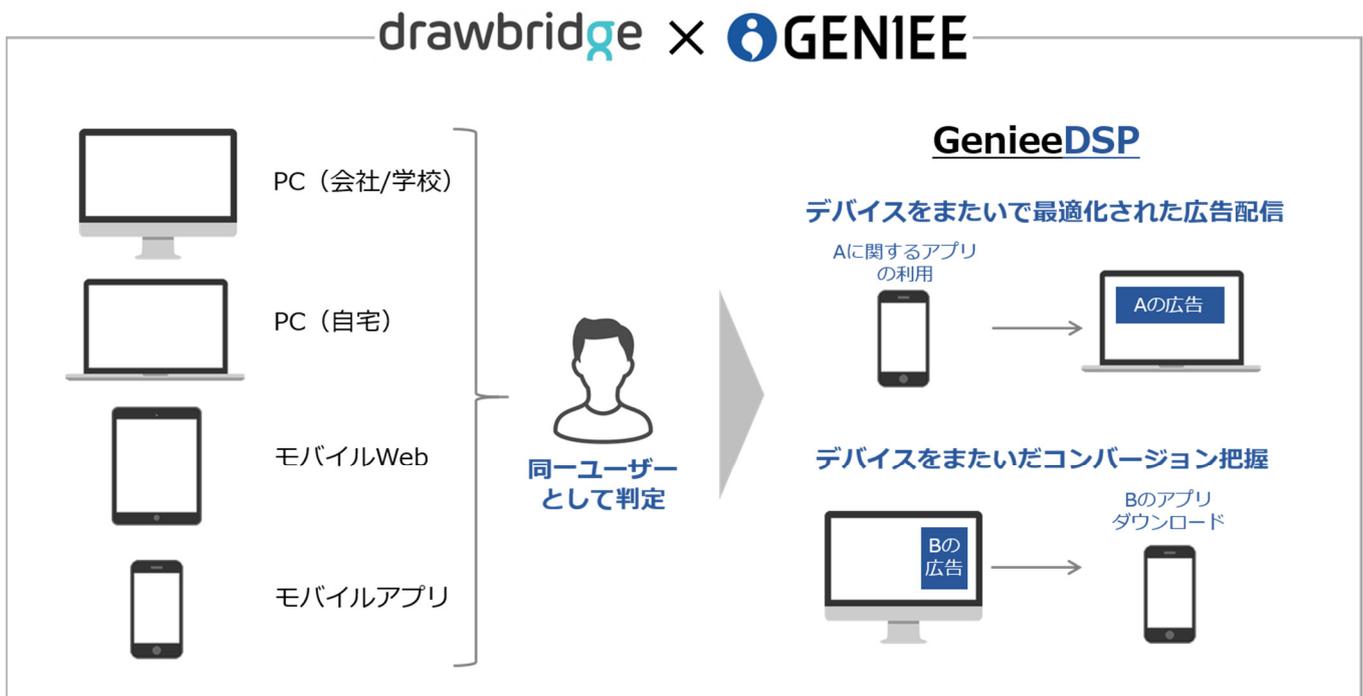


## 「GenieeDSP」、三井物産が提携する米 Drawbridge 社のクロスデバイスマッチング技術を導入

—PC-スマホアプリ間等を横断する同一ユーザーを推定し、広告配信を行う機能開発に着手—

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤智昭、以下「ジーニー」）は、広告主向け配信プラットフォーム「GenieeDSP<sup>※</sup>」にて、三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：安永 竜夫、以下「三井物産」）が資本業務提携する米国 Drawbridge, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、CEO：カマクシ・シバラマクリシュナン、以下「Drawbridge 社」）の“クロスデバイスマッチング”技術を導入しましたので、お知らせいたします。

これにより、PC とスマートフォン間や Web サイトとアプリ間といった複数デバイスを横断する同一ユーザーの推定が可能となります。今後ジーニーでは、「GenieeDSP」の利用を通じて、ユーザー単位で最適化されたターゲティング配信や、複数デバイスにまたがるコンバージョン状況の把握に関わる、広告主様からのニーズに対応してまいります。



これまで、インターネット広告配信においては、1人のユーザーが、広告識別子 (Webブラウザ上のCookieや、iOS・Androidのモバイル広告ID) ごとに別々のユーザーとして判定されるため、デバイス単位での最適化に留まっていました。一方、インターネット利用シーンが拡大する中、1人のユーザーが複数デバイスを活用する機会も増え、広告配信においてもデバイスを横断したパーソナライズ化が求められています。

こうした中、「GenieeDSP」では、クロスデバイスマッチングの米国最大手である Drawbridge 社の技術を導入し、複数デバイスを横断する同一ユーザーの推定を行う機能開発を行ってまいります。

ジーニーでは、引き続き、GenieeDSPを始めとする自社開発プロダクトの機能向上を図り、多くの広告主様やメディア様のマーケティング課題の解決に努めてまいります。

※: DSP (Demand-Side Platform)

複数の広告枠の配信最適化と効果検証などの一元管理により、広告主の広告効果を最大化するプラットフォーム。

## 【株式会社ジーニー (<https://geniee.co.jp/>) 会社概要】

設立: 2010年4月

代表者: 代表取締役社長 工藤 智昭

資本金: 1,388百万円 (2017年12月末現在)

本社: 東京都新宿区西新宿 7-20-1 住友不動産西新宿ビル 25F

海外拠点: シンガポール、ベトナム、インドネシア、タイ

従業員数: 254名 (連結、2017年12月末現在)

事業内容:

国内 No.1 規模を誇るインターネットメディアの広告収益最大化プラットフォーム「GenieeSSP」や、「GenieeDSP」、「GenieeDMP」を独自で開発・運用・提供。広告主・広告代理店のマーケティング支援サービスの提供。マーケティングオートメーション「MAJIN」の開発・導入支援。

### ＜本機能のご利用に関するお問い合わせ先＞

株式会社ジーニー アド・プラットフォーム事業本部 デマンド事業統括部  
TEL: 03-5337-8212 Mail: demand\_bd@geniee.co.jp

### ＜本件に関する報道関係のお問い合わせ先＞

株式会社ジーニー 広報 IR 担当  
TEL: 03-5337-8218 Mail: pr@geniee.co.jp